

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : “ HUSTLE X-RAY ”

COLOR : SLATE BLACK

COVER STOCK : VTC SOLID REACTIVE

RG : 2.53 (MID)     $\Delta$ RG : 0.030(Low)

TRACKFLAREPOTENTIAL : LOW-MID

BACK END : 15 (1-20) MAX    LENGTH : 18 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

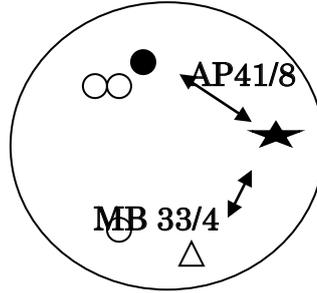
【MEDIUM HEAVYOIL 編】



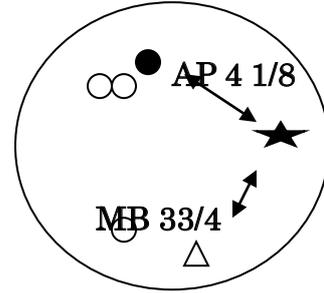
2024年5月16日

HUSTLE RBY

HUSTLE X-RAY



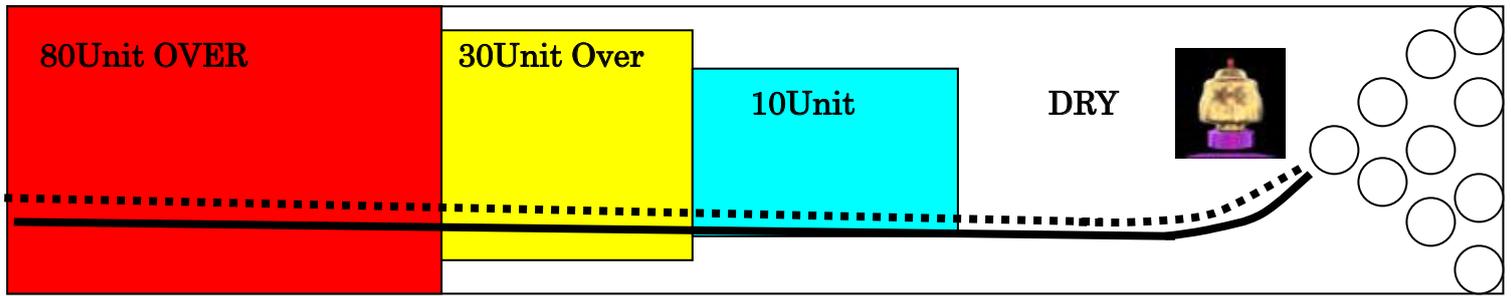
CA55度



CA55度

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8



0F

15F

42F

R/B/Y

比較品ライン

B/R/Y

X-RAY

【レーン状況】 ベースメンテナンスはツインスターで、15Fまではスプレオイルで増量し50ユニット以上、ドレッシング距離は42Fまでオイル量的にはミディアム仕様でバックエンドはクリーニングを手拭きで仕上げドライな状況です

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ	X-RAY
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5			
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						△	

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

B/R/Y : VTC 素材と HUSTLE コアの組合せではレーン手前は直線的に薄いオイルでも走りが強調されますが安定感は非常にあるので中級者や初めてのマイボール作りには最適な製品です

X-RAY : RBY とはコア形状は同じでソリッド素材になった分若干の直進性は少なくなります、その分立上りが強調されていてバックエンドでもアーク状にピンに寄るような動きが得られます

【総評】



今回の製品は まず初めに10ポンドから対応しているのでジュニア世代から使用できます。また ROTO GRIP 社はこの生産ラインでも効果を発揮し、現代風に仕上げた洗練されたVTC素材はそれぞれソリッドでもハイブリッドでも摩擦係数を調整する事でクリーンな走りに安定感も加味しているので曲がる位置は素材により若干違いはありますが 高いレベルで満足度の高いボールに仕上がっています。もちろんピンアクションにおいても クラス最高レベルですのでスピードの無い方でも ストライクが出しやすい仕様になってます

発売日 2024年8月    テストセンターアイビー向島    テスター石原 章夫プロ

